サポート情報記事

掲示板とトピックのフォロー: サブスクリプションとダイジェストの頻度

2026 © Vitextra SIA. All rights reserved.

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

掲示板とトピックのフォロー: サブスクリプションとダイジェストの頻度 4

概要 4

Follow ボタン 4

頻度 5

自動サブスクリプション 6

各サブスクリプションで届く内容 6

サブスクリプションの保存場所 7

掲示板とトピックのフォロー: サブスクリプションとダイジェストの頻度

Markdig.Syntax.QuoteBlock

概要

フォーラムは、人が戻ってきてこそ役に立ちます。Discussions では、その方法を各メンバーが自分で決められます。掲示板全体をフォローしてすべての新しいトピックを知る、1 つのトピックをフォローしてその返信を知る、そしてサブスクリプションごとに、知らせをすぐに受け取るか、1 日 1 回か、週 1 回かを選ぶ、という具合です。作成者は自分のトピックに自動的にサブスクライブされ、フォローをやめるのはワンクリックで済みます。

サブスクリプションは、旧ディスカッション掲示板が依存していたクラシックな **SharePoint の通知** (Alerts) に代わるものです。この仕組みは Microsoft が 2026 年 7 月に廃止する予定で、トピック単位のサブスクリプションやダイジェストを提供したことは一度もありませんでした。Web パーツはサブスクリプションをサイトのリストに保持し、メール自体はサイトの所有者が構成した Power Automate フローが送信します。

Follow ボタン

ベルのアイコンが付いた **Follow** (フォロー) ボタンは、2 か所に表示されます。

- 掲示板のコマンド バーの **New topic** (新しいトピック) の横 – こちらは**掲示板**をフォローします。
- 開いたトピックのヘッダーの **Back to topics** (トピック一覧に戻る) の横 – こちらはその**トピック**をフォローします。

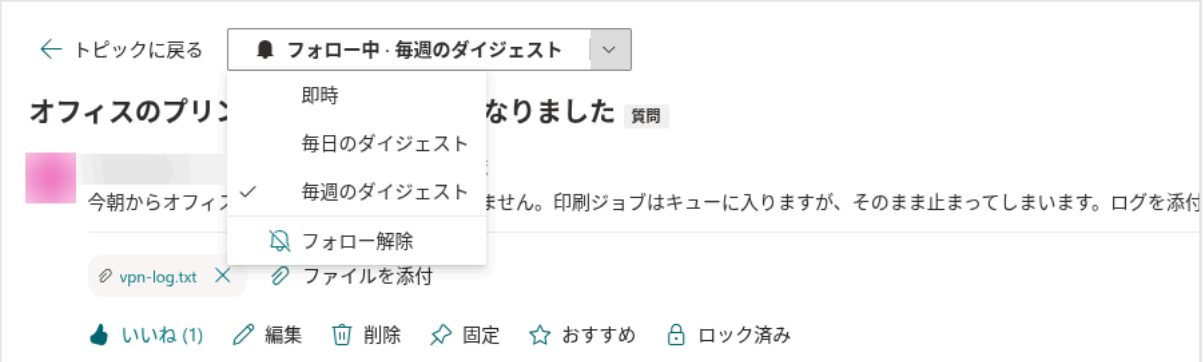
このボタンは分割ボタンです。メイン部分をクリックすると、**Immediately** (すぐに) の頻度で掲示板またはトピックをフォローします。矢印をクリックすると、3 つの頻度と **Unfollow** (フォロー解除) を含むメニューが開きます。



掲示板の Follow メニュー

フォローすると、ボタンは塗りつぶされたベルの付いた **Following** (フォロー中) に変わり、選択した頻度が表示されます (例: **Following · Daily digest**)。それ以降は、次のようになります。

- ボタンのメイン部分をクリックすると、フォローが解除されます。
- メニューで別の頻度を選ぶと、2 つ目のサブスクリプションを作成することなく、その場で頻度が変更されます。
- メニューの **Unfollow** は、メイン ボタンと同じ動作をします。



週次ダイジェストを選択したフォロー中のトピック

このボタンは、掲示板に投稿できるユーザー (アイテムの追加 (Add items) アクセス許可) に表示されます。閲覧者はフォローできません。サイトに `Discussions Subscriptions` リストがない場合、ボタンは非表示になります。「サブスクリプションの保存場所」を参照してください。

頻度

頻度	受け取る内容
Immediately	イベントごとに 1 通のメールが、発生時に送信されます
Daily digest (日次ダイジェスト)	その日にアクティビティがあったアイテムをまとめたメールが、1 日 1 通届きます

頻度	受け取る内容
Weekly digest (週次ダイジェスト)	その週にアクティビティがあったアイテムをまとめたメールが、週 1 通届きます

頻度はサブスクリプションごとに個別に設定されます。掲示板は週次で、注目のトピックはすぐに、というフォローも可能です。全体的な「ミュート」スイッチはありません。掲示板からのすべてのメールを止めるには、その掲示板と、その中でフォローしているトピックのフォローを解除してください。メンションはこれらすべてとは独立しています。@メンションされたユーザーは、サブスクリプションに関係なく通知を受け取ります (「KB10403. Discussions での @メンションの使い方」を参照)。

自動サブスクリプション

トピックを作成すると、Web パーツは **Immediately** の頻度でそのトピックにあなたをサブスクライブします。そのため、何もしなくても自分の質問への回答を知ることができます。ダイジェストに切り替えたりフォローを解除したりするには、トピックを開いて **Following** ボタンを使用します。トピックに返信しても、そのトピックにはサブスクライブ**されません**。スレッドの続きを見たい場合は、明示的にフォローしてください。

> メモ
>
> クラシック ディスカッション掲示板からインポートしたトピックには自動サブスクリプションが設定されず、旧リストのクラシックな SharePoint の通知も変換されません。移行した掲示板のメンバーに一度フォローするよう依頼してください。その後、旧リストの通知は削除できます。

各サブスクリプションで届く内容

Discussions の通知の取り決めでは、どのイベントでどのサブスクライバーに通知するかが定義されています。

イベント	通知される相手
掲示板に新しいトピックが公開された	**掲示板**のフォロワー

イベント	通知される相手
(またはモデレーターが承認した)	
トピックに新しい返信が公開された (または承認された)	**トピック**のフォロワーと**掲示板**のフォロワー。返信の作成者は除外されます
返信がベスト アンサーとしてマークされた	その返信の作成者とトピックのフォロワー
誰かが @メンションされた	メンションされたユーザー (フォロー状況に関係なく)
投稿が承認待ちになった	サイトの所有者

通知をトリガーするのは承認済みのコンテンツだけです。承認が必要な掲示板では、トピックや返信は送信時ではなく、モデレーターが承認した時点で通知されます。各メールは、Web パーツをホストするページの `?topic=<Id>` パラメーターを通じてトピックにリンクするため、受信者はスレッドに直接到達します。「KB10407. Discussions でトピックへのリンクを共有する (ディープ リンク)」を参照してください。

警告

Web パーツはサブスクリプションとメンションを記録しますが、メール自体は送信**せず**、メールのアクセス許可も要求しません。配信は、サイトの所有者がサイトに展開する **Power Automate** フローの役割です。フロー テンプレートは 26.10.2 プレビューにはまだ同梱されていません。今日作成したサブスクリプションは保存され、フローが配置され次第有効になりますが、それまでメールは届きません。フローが実装する取り決めは、「KB10414. Discussions の通知のしくみ: サブスクリプション、メンション、Power Automate」で説明しています。

サブスクリプションの保存場所

各サブスクリプションは、サイトの `Discussions Subscriptions` リストの 1 つのアイテムです。ユーザーごと、フォロー対象ごとに 1 行が作られます。

列	内容
User (ユーザー)	フォロワー
Target type (対象の種類)	`Board` または `Topic`
Target id (対象 ID)	`Discussions Boards` 内の掲示板の ID、または `Discussions Topics` 内のトピックの ID
Frequency (頻度)	`Immediate`、`Daily`、`Weekly` のいずれか
Board (掲示板)	掲示板への参照列。フローが 1 回のクエリで 1 つの掲示板のすべてのサブスクリプションを読み取れるようにします

フォローすると行が作成され、頻度を変更すると更新され、フォローを解除すると削除されます。このリストは他の Discussions リストと一緒に作成されます。最初のプレビュー ビルドで掲示板をセットアップしたサイトでは、サイトの所有者がページを一度編集モードで開くとリストが追加されます。すべての Discussions リストと同様にサイトのアクセス許可を継承するため、メンバーは技術的には **サイト コンテンツ** (Site contents) でリストを開き、誰が何をフォローしているかを見ることができます。これを非公開にしたいサイトの所有者は、リストに固有のアクセス許可を設定できます。Web パーツは現在のユーザーの名前でリストを読み書きし、そのユーザーが自分の行を追加、編集、削除できることだけを必要とします。

ヒント

サブスクリプションは、コミュニティを活発に保つ最も手軽な方法です。たまに参加するメンバーには **Weekly digest** を、回答する専門家には **Immediately** を勧めてください。5 つのリストすべての背後にあるデータ モデルは「KB10426. Discussions のリストと列のリファレンス」に、データの保存場所とテナントの外に出ないものについては「KB10411. Discussions がデータを保存する場所: リスト、列、プライバシー」に記載しています。